

六次産業化法に基づく認定事業計画一覧

北海道地域

別紙 3

総合化事業計画

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
1	地域の特産品である馬鈴薯と南瓜を中心とした商品の加工・販売事業	北海道の中で比較的温暖な気候の道南で自社生産した野菜を使用した加工品の開発・生産を行う。 特に①水産資源も豊富な道南・函館らしさを意識した馬鈴薯と烏賊を組み合わせた農水産加工品、②道南で昔から食されていた、いもち・かぼちゃもちの常温商品などの開発・生産を行うことにより、農業経営の改善及び新たな雇用の確保を図る。	株式会社駒ヶ岳ファーム大久保	-	-	北海道	函館市
2	微粉碎氷を利用した鮮度保持流通システムの導入による物流の改善	新技術（ベジタブルアイスインジェクションシステム）によるブロックリーの鮮度保持を実現し、首都圏大消費地までの物流を改善する。 さらに、他産地でない物流手法と鮮度保持技術を活かし、輸出も視野に入れた新たな契約販売先を獲得する取組も行い農家所得の向上を図る。	美瑛町農業協同組合	-	-	北海道	上川郡美瑛町
3	農場余剰生産野菜の利活用と加工品の高品質化を目指す事業	既存商品との差別化を図った商品開発及び規格外や廃棄農産物の有効利用を目的とした商品開発・製造に取り組む。 具体的には、完熟トマトを使用した高糖度トマトジュースや規格外・余剰生産品のキュウリを使用した漬物を製造するほか、米・大豆を使用した味噌の小分け・量り売りを行い、農業経営の改善と安定化を図る。	有限会社大塚農場	-	-	北海道	石狩郡当別町
4	ベビーリーフの加工販売事業	7ヶ月間休耕となるトマト栽培用のハウスを活用し、北海道の冬場でも生産体制が確立できるよう、低コストの暖房設備を整備するとともに、品質保持に優れた容器を使用するなど工夫を凝らすことにより農業経営の改善を図る。	有限会社キョクトー	-	-	北海道	旭川市
5	トマト、スイートコーン、小豆の1次加工品のピューレを利用した新商品開発及び販売事業	自社生産野菜から製造する1次加工品のピューレを活用した商品開発と生産を行う。 具体的には、トマトジュース・チーズケーキ・シュークリーム・アイスの商品開発とともに、販路の拡大と併せて農園内の直売体制も構築していくことにより、農業経営の改善及び地域の活性化を図る。	榑 孝弘	-	-	北海道	河西郡中札内村
6	地域資源である「ホエー豚」を活用したホエー豚による加工品の製造・販売事業	ホエー豚の生産から、商品開発・販売までを一体的に行うことにより、一層の付加価値向上を目指す。 具体的には、ホエー豚の特長を活かした「ホエー豚シャブシャブセット」、「黒ニンニク入りホエー豚餃子」などを開発・販売していくことにより農業経営の改善を図る。また、需要拡大に伴い飼養頭数を増加するなど生産体制も強化していく。	株式会社とがち・とん太・ダー子	-	-	北海道	帯広市

六次産業化法に基づく認定事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
7	地域の戦略作物である大豆を利用した「手作りみそ」の製造・販売、「牛肉」の加工・販売等に係る事業	自社生産の農畜産物を活用した加工品を開発し、地域での直売、学校給食への供給から広範囲での販路獲得を目指す。 具体的には、大豆の規格外品も活用した味噌の開発・生産、肉牛の精肉製造・販売、さらに地元ベーカリーへの供給のため小麦粉の生産も行うなど、農業経営の多角化・高度化をはかり、「きよさとブランド」あるいは「オホーツクブランド」の確立を目指すことにより、農業経営の改善及び地域の活性化を図る。	有限会社澤田農場	—	—	北海道	斜里郡清里町
8	米、野菜(トマト、ほうれんそう、とうもろこし、枝豆)を使用した商品の加工・販売事業	構成員が個々に生産する農産物を持ち寄り農産物の特性を活かした商品開発を行い、直売所で販売するほか、移動販売及び委託販売を行う。 具体的には、米・トマトを使用したピタパン、ほうれんそう・トマト・とうもろこし・枝豆を使ったスコーンの開発・生産により、付加価値を高めることで農業経営の改善を図る。	有限会社緑友会六輪村	—	—	北海道	北斗市
9	地域の特産品であるリンゴを利用した商品の加工・販売事業	規格外品による新たな加工品として、規格外リンゴや七飯町の特産であるニンジンの規格外品を使った「リンゴジュース」、「ミックスジュース」の商品開発・生産を行うことにより付加価値を高め、販売ルートの増加、経営の多角化により、農業経営の改善を図る。	宮後 英子	—	—	北海道	亀田郡七飯町
10	自社牧場の生乳を100%使った牛乳とチーズの加工・販売事業	牧場の生乳を使用したノンホモ牛乳とナチュラルチーズを新たに商品開発・生産し、現在行っている体験牧場事業と併せて展開していく。 また、商品については一般消費者向けだけではなく、お土産や贈答用に適した商品開発を行い販路を拡大することにより、農業経営の改善を図る。	旭川あらかわ牧場合同会社	—	—	北海道	旭川市
11	自社生産「サロマ和牛」の内臓肉を利用した新商品の加工・販売	「サロマ和牛」の内臓肉を自らが下処理・加工・販売を行う。 具体的には、下処理済内臓肉に加工・販売、また、味付きホルモンの製造・販売を行うことで、経営の多角化・高度化を図る。また、販路開拓、販売管理について促進事業者の支援を受けつつ消費者との双方向の情報発信を行うことにより、「サロマ和牛」だけではなく「サロマ牛」「サロマ黒牛」を含めたトップファームブランド全体のイメージ向上につなげていく。	サロマ牛肥育センター有限会社	—	株式会社オックス	北海道	常呂郡佐呂間町
12	自社生産「未来めむろ牛」の活用と「未来めむろファーム」開設による加工・販売事業	十勝地方の広大な土地で飼養された肉牛を使用して加工品の開発・生産を行い、インターネット販売をはじめ、レストランや直売所を併設した「未来めむろファーム」を開設して消費者との交流を展開する。 具体的には、精肉販売のほか、地域の食材も活用したハンバーグ・カレーの商品開発を行い自社直売所等で販売していくことなどにより、農業経営の改善及び地域の活性化を図る。	株式会社大野ファーム	—	株式会社オックス	北海道	河西郡芽室町

六次産業化法に基づく認定事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
13	自社生産農産物を活用した特色ある新商品開発と加工・販売事業	自社で生産した農産物を活用した商品を開発・生産するとともに、商品を直接消費者へ提供・販売するためのカフェや直売所を設置し、地元農業者や消費者との交流を展開する。 具体的には、いもだんご・かぼちゃだんごなど、地域の特色を活かした商品開発による農業経営の多角化・改善及び地域活性化に貢献していく。	株式会社 K'S FARM	—	—	北海道	帯広市
14	規格外人参を利用した加工・販売事業	廃棄、無償又は低価格で取引されている規格外人参を活用した商品開発及び販路の開拓を行う。 具体的には、人参酢などを商品開発・生産するとともに、新たな販売ルートを構築することによって、新たな事業を創出し、組合員個々の所得の向上を図る。	音更町農業協同組合	—	—	北海道	河東郡音更町
15	新規作物としてのイチゴの生産開始及び農産物の直接販売事業	北海道の地で通年栽培を計画しているイチゴ（新規作物）や、従来市場出荷しているメロン、ブロッコリーを、直売所を通して消費者へ直接提供していく。 具体的には、促進事業者が飲食兼直売施設を設置して申請者の調達する農産物を販売していくことにより、農業経営の改善を図る。	富良野ピュアテイスト有限公司	—	株式会社イエロー・ブリック・ロード	北海道	富良野市
16	特殊分割部分肉規格・北海道産食肉を原料とした食肉加工品の開発等事業	既存部分肉を再分割した特殊分割規格を定め、市場ニーズに対応した特殊分割部分肉の開発と普及、牛肉を原料とした食肉加工品の開発とともに新規販売ルートの開拓を行う。 具体的には、焼材、味付きカルビ、ハンバーグなどの使い勝手の良い商品の開発を行い販路を拡大することにより、肉畜生産者手取りの底上げを図る。	ホクレン農業協同組合連合会	—	—	北海道	札幌市
17	長芋の海外輸出の開始による販路拡大に係る事業	自社で生産している長芋の新たな販売方式として、海外への輸出を行うことで経営の多角化を図る。 具体的には、徹底した品質管理を行って付加価値を向上させることで、自社ブランドの確立を目指すことにより、農業経営の改善を図る。なお、将来的には、地域の生産者も一体となった輸出体制の確立も目指す。	株式会社ファームハウス ぴぽろ	—	—	北海道	網走郡美幌町

六次産業化法に基づく認定事業計画一覧

関東地域

総合化事業計画

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
1	新品種レタスをやさいギフト商品として開発し、花屋等への販路開拓により高付加価値を図る事業	観賞して食する新品種のレタス(商品名「♪やさいスイートピー♪」)の生産及びフラワーアレンジメント加工を行い、花卉量販店や地元フラワーショップ等での販売拡大に取り組む。	岩瀬 弥隆	—	—	茨城県	古河市
2	新設直売所を利用した「販売の方式の改善」及び新品種小麦(ゆめかおり)、米粉を利用したパン、菓子の製造・販売事業	自ら運営する直売所において、直売所会員が生産する小麦新品種(ゆめかおり)や米粉を原料とするパン・菓子の製造・販売に取り組むとともに、地元農産物(トマト、きゅうり、なす、卵など)とそれを利用した加工食品(お惣菜)の製造・販売を行い、地産地消の推進を図る。	ひたち野農業協同組合	—	—	茨城県	石岡市
3	パパイアの栽培、加工、販売事業	青パパイアの栽培・加工を行い、ネットや地元の直売所等との連携による販売に取り組む。	柳沼 正一	—	—	茨城県	那珂市
4	(有)那須高原今牧場における自家産原乳及び山羊乳を利用したチーズ製造・販売事業	自ら生産した生乳を活用し、「那須高原の牧場産チーズ」というブランド化を目指し、独自のチーズ加工のノウハウにより製造するチーズを、直売所や道の駅、ホテル、レストラン、ゴルフ場、観光施設等への販売することにより、販売増加を目指す。	有限会社那須高原今牧場	—	—	栃木県	那須郡那須町
5	地域で収穫される大根、ほうれん草、ブロッコリーを利用した下処理野菜の加工販売事業	自社農場で生産したほうれん草と、(株)野菜くらぶ(促進事業者)の大根、ブロッコリーを加工(皮むきして下味したものや、カットし加熱殺菌・冷凍したもの)し、付加価値を高めた野菜を商品化して、ホテルや業務用向けなど新たな販路開拓に取り組む。	グリーンリーフ株式会社	—	株式会社野菜くらぶ	群馬県	利根郡昭和村
6	自家産牛肉の直売、および加工新商品の開発・製造・販売	自家肥育牛を用い、新たに牛肉の精肉パック詰めの商品化を行い、自宅事務所内に新設した直売所兼配送センターにて、牛肉とともにビーフウイナー、ビーフジャーキー、塩麴漬け、牛串、ビーフメンチカツの加工品の開発・販売に取り組むとともに、農業体験を通じた顧客との交流や、自家堆肥を使用した野菜の生産にも取り組む。	國分 唯史	—	—	埼玉県	東松山市
7	埼玉県の特産品である小松菜の規格外品を有効利用した加工品原料の製造・販売事業	自ら生産した小松菜の規格外品を活用し、小松菜ペースト及び小松菜粉末を製造・販売する。	農業生産法人株式会社ナガホリ	—	—	埼玉県	上尾市

六次産業化法に基づく認定事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
8	高品質な原乳を利用した乳製品開発・販売事業	加工施設を新設し、自ら生産する生乳からヨーグルトの開発・生産に取り組む。 また、改築する直売所に現在販売のジェラートアイスに加え、ヨーグルトや近隣農家のジャム等を置くなど、販売のバリエーションを増やすことで販売促進を図る。	農事組合法人 榎本牧場	—	—	埼玉県	上尾市
9	ブルーベリーの商品開発・商品化事業	自ら生産したブルーベリーを使用したジャムや冷凍菓子を商品化して、新たな販路拡大(県内菓子屋チェーン、お土産屋、飲食店、道の駅等)に取り組む。	株式会社まるい農園	—	—	千葉県	市原市
10	新規就農若手生産者の販路開拓支援と都市の街づくり活性化を図る農産物直売所事業	自社生産の野菜と、近隣の新規就農者が生産する野菜を併せて、これまでのネット販売に加え、新たに都市近郊に出店する直売所にて販売展開を図る。	ミレー株式会社	—	—	千葉県	香取郡 多古町
11	地域資源を活用したブランド豚肉の加工・販売事業	自ら生産する豚を独自の飼料配合、独自の系統造成、客観的認証システムの導入などにより高付加価値を図り、「桃茶豚」としてブランド化し、加工品の開発、販路開拓を目指す。 また、販路については、新たにインターネットの活用(全国)、レストランへの卸売、直売店(首都圏)、海外富裕層への開拓に取り組む。	臼井 千恵子	—	(有)臼井農産 (株)うすいファーム (株)クリアリンク	神奈川県	厚木市
12	有機農産物を素材にした惣菜加工施設の開設と都市部への直接販売	自ら生産した有機農産物を使用した惣菜やパン、スイーツの製造・販売を行う。 また、消費者に直接届く販売体制により、生産の背景を消費者に伝え、消費者との共同企画の商品を作るとともに、消費者も生産に係わる体制の構築を目指す。	合同会社さがみこ 有機畑	すどう農園 須藤 章	—	神奈川県	相模原市
13	NEW GIFTS 勝沼菜果物語 (自社産葡萄及び野菜を使った、ジュース、ドライフルーツ等の生産)	自ら生産したブドウの規格外品を有効活用したドライフルーツ・ベジタブル、県内産米の米粉(梨北米米粉)を使った洋菓子(レーズンシフォンケーキ、レーズンサンド)、スパークリングジュースの商品開発を行い、販売拡大を目指す。	有限会社ぶどうばたけ	—	—	山梨県	甲州市
14	山梨県産の百目柿を利用したあんぼ柿・枯露柿加工と新商品の開発及び販売事業	柿の自動皮むき機、乾燥機等を新設し、自社農園が生産する百目柿を加工し、干し柿(あんぼ柿、枯露柿)を商品化する。 また、自ら整備する直売所において、干し柿のほか桃、ブドウ及びその加工品の販売に取り組む。	農業生産法人有限会社 マルサフルーツ古屋農園	—	—	山梨県	笛吹市

六次産業化法に基づく認定事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
15	ワイン用葡萄等を使った新商品・ランチレストラン事業	自ら生産したワイン原料用ブドウを原料として、ジャムやピューレの商品開発・製造を行う。また、ブドウ栽培過程で出る剪定枝をスモークチップ化し、スモーク製品の商品開発を目指し、販売拡大を図る。 更に、ランチレストランを新設し、都市からの参加者に対し自家生産した野菜やハーブ、ブドウ等を使いワインに合う料理の提供に取り組む。	奥野田葡萄酒醸造株式会社	—	—	山梨県	甲州市
16	地域資源としての羊肉のブランド化及び6次産業化	勝沼ワインの絞り粕、忍野村で生産される大豆による豆腐の絞り粕(おから)を給餌した羊の飼養を行い、羊肉の生産及びハム、ソーセージなどの羊肉加工品を自社で生産し、販売拡大に取り組む。	株式会社ふじさん牧場	—	—	山梨県	富士吉田市
17	地域生産物を活用した直売所販売と、信州大町そば粉を味わえる食事処(そば屋)の展開事業	自ら生産する秋そば(標高900mの圃場厳選)、特別栽培米等を中心にメニュー化を行い、新たに出店する食事処(そば屋)にて提供する。 また、新設する直売所では、自社の農産物に加え、周辺農家の生産物や観光土産品等を加え品揃えの充実を図る。	有限会社ライスファーム野口	—	—	長野県	大町市
18	採卵養鶏農業の6次産業化による経営強化事業	これまで未活用資源であった規格外の鶏卵と鶏肉を使用し、新商品(マヨネーズ・たまご焼き、味付け肉など)を開発し、付加価値をつけた商品による新たな販売展開を図る。	農事組合法人会田共同養鶏組合	—	—	長野県	松本市
19	国内・海外の富裕層を満足させる、ぶどう加工品の新商品開発・販売事業	高級レストラン等の業務用として、自らシルクアミノ酸を用いたブドウを生産し、その加工品(干ブドウ、ジュース、ソースなど)の開発・販売を行うことにより通年販売を目指す。 また、新たに富裕層を対象とする販売拠点として、軽井沢マルシェなどでの販路拡大に取り組む。	株式会社秀果園	—	—	長野県	東御市
20	地元レストランとの連携による農産加工品(トマトソース、コーンスープ)の製造販売事業	自ら生産する野菜(スイートコーン、イタリアントマト)を使用したコーンスープ及びトマトソースの商品化を行い、直売所、レストラン等への販売に取り組む。	上野 真司	—	—	長野県	飯田市
21	地場産機能性野菜を使用した新包子(パオズ)(餃子、饅頭等)の商品化と開発計画	自社が生産するニラを使用した餃子や饅頭等を製造し、直売所で販売するほかインターネットを活用した通信販売等に取り組む。	株式会社信生	—	洗馬農業協同組合 美勢商事株式会社	長野県	塩尻市

六次産業化法に基づく認定事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
22	地元産果実、野菜を利用したオリジナルジャムスープ加工商品の販売事業	自ら生産するリンゴを原料として、プレザーブスタイルのジャム、瓶詰めスープ等の加工品の開発・販売を行うとともに、インターネット販売等販路拡大を目指す。	株式会社なかひら農場	—	—	長野県	下伊那郡松川町
23	信濃霧山ダッタンそば新製品開発事業	組合員が生産するダッタンそばを使用した新商品(アイスクリーム、シェイク、パンなど)を開発するとともに、そばレストランを出店し、地域の特産品(ジビエ)とともにメニュー化を図り、ダッタンそばの普及と地域の活性化に取り組む。	信濃霧山ダッタンそば生産者組合	—	—	長野県	小県郡長和町
24	地域特産である小梅を利用した商品加工・販売事業	自ら生産する梅を原材料とした梅ジャム、梅ジュースを開発・製造し、新たにインターネット販売に取り組む。	有限会社信州伊那梅苑	—	—	長野県	岡谷市
25	地域特産品の茶葉の持つ高い品質性・機能性を広く活用したスティックタイプ粉末茶の製造・販売事業	組合員が生産する茶葉を使用し、茶葉の持つ高い品質性・機能性を活用した「スティックタイプ粉末茶」の製造・販売を行い、経営の多角化に取り組む。	小園碾茶組合	—	株式会社トモニ	静岡県	藤枝市
26	地場産野菜・ソバを利用した加工品の製造・直売事業	自ら生産した野菜、ソバを使用した加工品の製造・直売を行い、経営の多角化を図るとともに、原材料に規格外品を活用することによる経営の効率化に取り組む。	株式会社エスファーム	—	—	静岡県	静岡市

六次産業化法に基づく認定事業計画一覧

北陸地域

総合化事業計画

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
1	自社生産物を活用した加工品の製造・販売事業	平成24年より、所有の既存施設に加工機器を導入し、自社農場の米や野菜を使用した総菜、弁当の商品化を行い、自社直売所及び市内スーパーマーケット数か所のインショップコーナー等で販売を行う。	農業生産法人有限会社朝日池総合農場	—	—	新潟県	上越市
2	津南産農産物を活用した総合プロデュース事業	自社生産の米や大豆を使用し①もちを活用したスイーツ及び豆腐・大豆飲料など新商品の販売を進める取組②米の販売において中国や東南アジア方面への展示会への出展を進め、海外向け需要の掘り出しを進めていく取組③レストラン事業の展開④野菜工場（イチゴ・葉物）の整備に取り組む	株式会社ごはん	—	—	新潟県	中魚沼郡津南町
3	山羊ミルクおよび肉を利用した各種加工食品の開発、製造、販売事業	ヤギの乳を利用したソフトクリーム・ジェラート、ヨーグルト、チーズ、肉加工食品などの商品を開発し、既存のレストランや土産物店などで販売を行い農業経営の改善を図る。	株式会社あるぺん村	—	—	富山県	中新川郡立山町
4	自社生産のセイアグリー健康卵の廃鶏を利用した商品の加工・販売事業	採卵期間を終えた鶏をチキンソーセージやチキンスープなどに加工し販売。廃鶏を有効利用することにより養鶏業経営に付加価値を取り込むことで、養鶏業経営の改善を図る。	株式会社セイアグリーシステム	—	—	富山県	高岡市
5	自家生産コシヒカリを用いたこだわり味噌の加工・販売事業	自ら生産したコシヒカリと大豆を用いた味噌を生産する。また、近年の健康志向に適したニンニク味噌、トウガラシ味噌、柚子味噌など多様な商品を開発するとともに、新たな販売ルート（宅配、地元直売所、山小屋、レストラン）を構築することにより、経営の多角化・高度化を図り、農業経営に付加価値を取りこむことで、農業経営の改善を図る。	農事組合法人いこいの社	—	—	富山県	中新川郡立山町
6	自家生産の規格外桃を使ったスイーツの加工・販売事業	桃の規格外商品を使ったスイーツ（ケーキ・タルト・桃プリン・桃コンポート等）を製造し、自らの直売所にて販売。またスイーツの生地は自社の米を使った米粉で付加価値のある商品開発をすることにより農業経営の改善を図る。	農工房長者株式会社	—	—	富山県	砺波市



六次産業化法に基づく認定事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
7	自家製のごはんと米粉パスタを中心に、地域の野菜を食材とした料理を提供する農家レストラン事業	自ら生産した米と自家製米粉パスタを中心として地域の野菜を食材に使用した料理を提供する農家レストランを開業する。 地元の社会福祉法人と連携し、障害者の雇用などで野菜の生産や米粉を使った加工食品の生産にも取り組んでいく。	MK農産「米工房 Jasmine」	徳本 久邦	社会福祉法人海望福祉会	富山県	魚津市
8	宅配による鶏卵の直接販売事業	従来の委託販売だけでなく、新たに運送業者との連携による鶏卵の宅配事業に取り組むことによって、新鮮な農産物の提供、消費者との顔の見える関係の構築、商品に付加価値を取り込む事により、農業経営の改善を目指す。	有限会社床鍋養鶏	—	—	富山県	小矢部市
9	自社生産の大根を原料とした切干大根の製造・販売	自社農園の大根を用いて、切干大根の加工、販売に取り組むことにより、露地野菜部門の農閑期の雇用確保および収益源確保を目指す。	有限会社中本農園	—	—	石川県	白山市
10	自社生産の米と地域野菜を使ったおやきの開発と販売	自社生産の米を使った生地に、地元野菜で作った具を包み込む「おやき」の商品化と販売の新たな展開で経営改善を図る。	農事組合法人和多農産	—	—	石川県	能美市
11	小松市の特産品であるトマト、人参および大麦の規格外品を利用した加工食品の開発・販売事業	これまで廃棄等されていたトマト、ニンジン、大麦の規格外品を利用しカレー・スープ・ケチャップ、大麦ドリンク・シリアル等を製造販売し、JA小松市の加工食品の売上向上と生産農家の収益改善を図る。	小松市農業協同組合	—	—	石川県	小松市
12	耕作放棄地を利用したそば栽培におけるそば加工品・販売及び、米粉加工品・販売事業	自ら生産する米やそばを地元の味噌製造業者と協力し、加工品（米粉、米粉めん、そば、そばみそ）の製造・販売に取り組むことにより、将来的に耕作放棄地の減少を目指す。	農事組合法人美川の名水	—	—	石川県	白山市
13	自社農場で生産した未利用資源の里芋の親芋を利用した商品の販売事業	里芋の親芋を使った新商品（里芋コロケ、アンニン（クラッシュゼリータイプ））の開発・生産を行い生協の販売ルートを利用し販売を行う。未利用資源に付加価値を取り込むことで農業経営の改善を図る。	建石 正治	—	(有)公楽商店	福井県	大野市

六次産業化法に基づく認定事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
14	自社農園生産の米、里芋、野菜を利用した商品の加工・販売事業	自社栽培の里芋、野菜を活用した「おかず」（のっぺい汁）の商品化を実現し、直売所及び展示会への出展により販路拡大を図る。その他、大麦若葉の生産・加工を予定している。6次産業化への取組により安心安全な自社農園栽培の農産物のアピール等の相乗効果を図り経営を向上させていく。	合同会社上田農園	上庄農産加工（株）	—	福井県	大野市
15	耕作放棄地を付加価値に転換する農作物の栽培・直接販売事業	自社が運営主体となり耕作放棄地を開墾した畑で参加者とともに野菜生産を行い参加者に販売するほか、施設園芸による野菜の生産・加工、自社直売所、農家レストランの開業等を新たに行い経営の改善を図る。	とんぼふぁーむ株式会社	—	株式会社マイファーム 福井テレビジョン放送株式会社	福井県	越前市

六次産業化法に基づく認定事業計画一覧

東海地域

総合化事業計画

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
1	地域資源であるドラゴンフルーツやアセロラを利用した商品加工と販売事業	温泉熱を利用して栽培するドラゴンフルーツや、アセロラを利用して新商品開発・販売を行い、経営の強化を図る。 具体的には、加工・販売所等の整備を行い、ドラゴンフルーツジュースやアセロラピューレ・キャンディを開発・販売する。なお、加工は製造委託する。	有限会社FRUSIC	—	—	岐阜県	高山市
2	奥飛騨温泉郷で養殖した大マス『飛騨サーモン』の加工・販売事業	奥飛騨の大マスをブランド化して、旅館等の食材供給だけでなく、お土産品として商品開発し、養殖に付加価値を取り込むことで経営の改善を図る。 具体的には、大マスを利用して燻製及び粕漬けの商品開発・加工・販売を行い、「飛騨サーモン」としてブランド化を目指す。また、イワナ等の釣堀事業を行い釣れた魚を販売する。	株式会社穂高養魚場	—	—	岐阜県	高山市
3	いちごの新品種「桃薫」を利用したロールケーキの製造・販売事業	イチゴの新品種「桃薫」を新たに栽培して、ロールケーキを商品開発・製造・販売することによって、経営基盤の強化及び生産力の増強を図る。 イチゴは自社の既存商品の製造・販売で培った技術を活用して冷凍保存することによって、周年製造販売出来るようにする。	株式会社ポテンシャル農業研究所	—	—	岐阜県	高山市
4	生産調整田等を利用して生産した野菜を使った加工・販売事業	生産調整田等を利用して、新たに野菜生産に踏み出し、同時に加工を行い経営を改善する。 具体的には、生産した野菜（じゃがいも、かぼちゃ、ニンジン等）を、スチーム加工及びペースト状に加工して地元のホテル等に販売する。産学官で開発したソフトスチーム技術を取り入れ、栄養価や食感を損なわない高品質加工を行う。	有限会社まんま農場	—	—	岐阜県	高山市
5	高糖度ミニトマトを利用した商品の加工販売と都市農業を活かしたミニトマトの販売事業	都市部で生産しているミニトマトを利用し、使用範囲の広いトマトソースやトマトジュースを開発・販売する。 また、増設するハウス内に直売コーナーを設けるとともに、都市農業を活かした販売方法として収穫体験及び収穫したトマトの量り売りを行い、経営の多角化を図る。	飯田 実	—	ダンフーズ株式会社	愛知県	名古屋市
6	自社生産豚肉を利用した総菜シリーズの製造販売事業	自社の直売所等において品質の高い豚肉・ハムソーセージを販売するなど、生産から販売までの一貫経営で独自ブランドを構築し、売上げを伸ばしている。新たに自社生産の豚肉を利用して串カツや煮豚を中心とした和風総菜など付加価値の高い新商品を開発・製造・販売することにより、経営の多角化・高度化を図り経営基盤を強化する。	有限会社石川養豚場	—	—	愛知県	半田市

六次産業化法に基づく認定事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
7	稲武地域の特産品であるブルーベリーを利用した商品の加工・販売事業	豊田市稲武地区の特産品であるブルーベリーについて、新たに加工施設を整備して、新商品を販売及び提供することにより経営の多角化・高度化を図る。 具体的には、ブルーベリーパイ、ブルーベリームフィンを開発する。また、販売は自営の観光農園のほか、新たにインターネットや近所の観光施設で販売を開始する。	株式会社杉田組	—	—	愛知県	豊田市
8	米粉を利用したかりんとうを中心とした油菓子の開発とインターネット・直売所を利用した米・米加工品の販売事業	自ら農薬を節減して栽培した米を米粉にし、その米粉を利用したかりんとうを中心とした油菓子の新商品を独自のレシピで開発・製造・販売を行う。 また、平成23年よりインターネット販売に取り組み、平成24年には直売所を開設することにより、販売方式の多角化を行い、自らの経営基盤の強化を図る。	鈴木 晋示	—	—	愛知県	豊川市
9	イチゴとコメを利用したスイーツの加工、販売事業	イチゴと米粉を使った加工品を商品開発、生産するとともに、新たな販売ルートを構築することにより、経営の多角化・高度化を図り農業経営を改善する。 具体的には、新たに、イチゴと米粉を使ったロールケーキ及びイチゴを使ったアイスクリーム、飴を開発し販売する。加工は製造委託し、自社倉庫での直売、インターネット販売をする。	株式会社秀農業	—	—	愛知県	一宮市
10	米粉を使った小麦粉フリー商品の開発・販売事業及びそれに伴う米の販路拡大事業	小麦アレルギーの人も安心して食べられる小麦粉フリーの米粉ホットケーキミックスや米粉の唐揚げ粉等を開発する。今年から新たに、特別栽培米を生産し、安田穀粉(有)に加工委託し商品化する。これまでのインターネット販売に加え、農産物直売所等で米及び米粉製品を販売し、農業経営の改善を図る。	安田 晃朗	—	安田穀粉有限会社	愛知県	豊橋市
11	地域で生産した米・大豆を利用した商品の加工販売事業	自ら生産している米、大豆を加工して、商品開発販売することにより、経営の多角化・高度化を図り農業経営を改善する。 具体的には、新たに加工施設を整備し、みそ、もち、巻き寿司、赤飯などを商品開発する。自ら経営する直売所での販売とともに、地域のドライブイン、道の駅でも販売することにより販路を拡大する。	農事組合法人あぐりびあ伊賀	—	—	三重県	伊賀市
12	養液栽培大粒ブルーベリーを利用したスイーツの加工・直接販売事業	通常の1.5~2倍の大きさの「養液栽培大粒ブルーベリー」を利用した商品を加工・販売し、農業経営の改善並びに地域のブルーベリーの知名度向上及びブランド化を目指す。 具体的には、ブルーベリースイーツ(ババロア、シャーベット等)を開発し、(株)猪の倉で加工、自社経営の観光農園や猪の倉温泉内の直売所等で販売する。また、生果についても新たにインターネット販売を行う。	株式会社いのさん農園	—	株式会社猪の倉	三重県	津市

六次産業化法に基づく認定事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
13	青実いちじく加工品の製造・販売事業	新たに熟する前の青い実のいちじくの加工商品を開発・販売することにより、農業経営の多角化、高度化と経営の改善を図る。 具体的には、いちじくの甘露煮を開発して料理食材として販売する。また、フルーツビネガーを製造する加工会社と出荷契約を結び、ビネガーに適した青実いちじくの加工商品を開発し販売する。	川原田 憲夫	—	—	三重県	津市
14	地域の特産品である「伊勢茶」「ひじき」等を利用した切餅と丸餅の製造・販売事業	自ら生産したもち米を加工して商品開発、販売ルートを構築することにより、経営の多角化・高度化を行い農業経営の改善を図る。 具体的には、新たに加工施設を整備し、地域の特産品である「伊勢茶」等を利用した切餅・丸餅の商品開発を行い、県内のスーパーや直売所等で販売する。	株式会社小林農産	—	—	三重県	多気郡明和町
15	柑橘100%ジュースを原料としたお酢及びその加工商品の加工・販売事業	柑橘ジュースを原料とした酢及びその酢を利用したドレッシング等の商品開発に取り組み、国内外での販売促進を行い、農業経営の改善を図る。 具体的には、加工施設を整備し、さまざまな柑橘ジュースを利用した酢を開発するとともに、その酢を利用したドレッシング等を開発し、自社の通販・直売所・催事等で販売する。	有限会社すぎもと農園	—	—	三重県	南牟婁郡御浜町
16	人工光栽培による工場野菜を利用した加工・販売事業	野菜工場プラント、加工場、直売所を整備して、サラダパック、ジュース等の新商品を開発・販売し、経営の発展に結びつける。直売所は野菜工場に併設し、工場見学ができる構造にする。 具体的には、サラダパックは、家庭で手軽に食べられるような製品を開発する。ジュースは、サラダ用の野菜のジュースに抹茶を混ぜた製品と、工場で大麦を生産して作る青汁（抹茶を混入）の2種類の製品を開発する。	ふたば園株式会社	—	—	三重県	伊賀市

六次産業化法に基づく認定事業計画一覧

近畿地域

総合化事業計画

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
1	米を利用した新商品（菓子）の加工販売及び野菜と米を利用した惣菜、弁当の加工販売事業	加工品の新商品を開発（米せんべい、炊き込みごはん、ちらしずし、信長ずし（鮎ずし）、煮豆、ぜいたく煮、彩菜煮）を行い販売。さらに、観光みやげや贈答品となるようパッケージ等を検討し、販売・売り上げの増加を目指す。	工房 安土夢 代表 嶋川 千代子	—	—	滋賀県	近江八幡市
2	沖島よそののコロケプロジェクト	ブラックバスを主な原料としたコロケの開発、販路拡大を狙い、ブラックバスを資源として活用することで地域を活性化し、島の産業として発展。	沖島漁業協同組合	—	株式会社木馬 ひさご寿し NPO法人近江八幡市中間支援センター	滋賀県	近江八幡市
3	野菜の香りや艶を届ける直接販売事業	多種多様な旬の野菜を生産しているが、量販店との全面的直接取引を行い、消費者ニーズを把握しながら、生産品目拡大及び量販店での自農園コーナーの充実にも取り組み、販売力の向上を図る。	株式会社みやもと農園	—	—	滋賀県	近江八幡市
4	有機肥料を用いて栽培した糖度の高い果物（いちご、いちじく、さくらんぼ、ぶどう）を利用した商品の加工・販売事業	食品添加物を一切使用しないイチゴ、いちじく、さくらんぼ、ブドウのジャムを開発・生産するとともに、その新たな販売ルートを構築することによって、経営の多角化・高度化を図り、農業経営に付加価値を取り込むことで、農業経営の改善を図る。	農業生産法人グリーン エコスター株式会社	—	スター株式会社	滋賀県	守山市
5	なばなの加工による販売事業	菜の花（なばな）を乾燥・粉末化し、スイーツや近江米と掛け合わせたりゾット等の開発を手がけ、経営の多角化・高度化を図り、付加価値を取り込むことで、農業経営の改善を図る。	なばなおうみの会 代表 林 浩太郎	—	—	滋賀県	守山市
6	自社の生産物である米・大豆・黒豆等を利用した商品の加工・販売事業	新規需要米を米粉に加工し、米粉パンなどの新商品開発をする。また、米を利用した、だんご、おかゆ、鮎寿司の開発、大豆、野菜などを利用した煮豆、漬物等の開発に取り組み、自社ホームページを作成して販売促進を行い新たな販売ルートを構築することにより経営の多角化を図る。	有限会社岡村農産	—	—	滋賀県	甲賀市
7	当社の農園で生産した農産物（野菜各種）の販売事業	米・麦・大豆の生産出荷を中心に経営をしているが、今後、カボチャ、なす、たまねぎなどの野菜の生産を拡大し、直接消費者に対して顔の見える販売を展開する。また、近隣のスーパーや加工業者との契約販売に取り組み、安全安心な農産物を供給していく。	農事組合法人春日営農 組合	—	—	滋賀県	甲賀市

六次産業化法に基づく認定事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
8	無農薬栽培ウーロン茶製造販売事業	全国に先駆けて無農薬栽培に取組み、自らの店舗では煎茶等の販売も行っているが、茶業を取り巻く環境は更に厳しくなることから、新たに無農薬栽培によるウーロン茶を開発・販売し農業経営の改善を図る。	片木 明	—	—	滋賀県	甲賀市
9	新しいお茶の淹れ方の提案にあわせたお茶の開発と茶器のセット販売事業	「きゅうすを持っていない」「洗うのが面倒くさい」という家庭の増加により、一般家庭できゅうすを使って日本茶を飲む機会が少なくなってきた。一般の消費者がきゅうすを使わずに手軽に日本茶を飲んでもらえるように、茶碗とお茶をセットにして、急須を使わないお茶の淹れ方を提案し、この淹れ方にマッチした商品を開発・販売する。	農事組合法人グリーンティ土山	—	—	滋賀県	甲賀市
10	当社の生産した農産物（米）を利用した加工品・商品の販売事業	生産調整品目として新規需要米（米粉用米）の生産に取り組み、新たな米粉加工品として米粉パンの製造販売に取り組み。地元産の野菜や果樹、豆などの特産物も使用し、地元産にこだわった商品開発をすすめ、一般消費者をはじめ、学童保育などへの供給にも取り組む。	農事組合法人甲賀エコファームいちの	—	—	滋賀県	甲賀市
11	地域の生産物である米（もち米およびうるち米）を利用した商品の加工・販売事業	地域特産品である「滋賀羽二重餅」等を使用して、様々なもち加工品や米粉加工品（もち商品、米粉鯛焼き、米粉めん等）の製造・販売に取り組んでいるが、新たな加工品として、もちピザシートや米粉ラーメンなどの商品開発と生産に取り組み、新たな米粉文化の創造を目指す。	農業法人有限会社甲賀もち工房	—	—	滋賀県	甲賀市
12	当社農園で生産した農産物（イチゴ）を利用した商品の加工・販売事業	イチゴの生産・販売をおこなっているが、生果販売だけでなく、形が悪いなどにより生果販売に向かないイチゴのジャム加工等の商品開発をすすめ、付加価値を高める。	有限会社しまだファーム	—	—	滋賀県	甲賀市
13	伝統野菜である鮎河菜を利用した商品の加工・販売事業	伝統野菜である鮎河菜の生産販売を行っているが、収穫時期が短期間であることから、JA出荷のみでは有利販売ができない。そのため今後は、伝統野菜という希少性をPRして、新たな販路拡大に取り組み契約取引を導入していく。更に鮎河菜を利用した漬物等の加工品を開発・販売する。鮎河菜の生産拡大、地域文化の発信を目指す。	農事組合法人すごいええのう鮎河	—	—	滋賀県	甲賀市
14	自家農園で生産した米・野菜を利用した商品の販売	米・麦・大豆・野菜の生産を行っているところであるが、自家農園で生産している少量多品目の野菜をJA等の直売所への出荷だけでなく、自己のホームページを立ち上げ、米や新鮮野菜の直接販売に取り組んでいく。特に稀少な古代米の生産に取り組み、商品を充実させ、一般消費者への販売力を高めていく。	田中 治広	—	—	滋賀県	甲賀市

六次産業化法に基づく認定事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
15	地域特産品である茶の高品質化および茶を利用したアイスクリームの販売	原料茶（荒茶）は、近年色の良い製品が求められるようになってきているため、製造工程中に新しい工程を導入することでニーズに対応した生産を行い、販売単価の向上を目指す。また、煎茶についても、より品質の高い商品を生産し、インターネットによる情報配信を充実、通信販売の商品バリエーションを増やし、売上を増加させる。 さらに、地元酪農農家の牛乳を利用して抹茶などの入ったアイスクリームを店舗で販売しているが、紅茶、ウーロン茶等の商品のバリエーションを増やすことで売上の増加を目指す。	有限会社茶のみやぐら	—	—	滋賀県	甲賀市
16	相対取引を活用した茶の有利販売と粉状の茶販売	生産した荒茶の一部を県内外の茶問屋へ販路を広げ、相対取引による直接販売に取り組む。 また、お菓子や料理などに利用でき、飲用としても茶葉を捨てることなく全て飲める事から需要拡大が見込めるため、荒茶を粉状に加工し、商品化し販売することにより、農業経営の改善を図る。	洞 重則	—	—	滋賀県	甲賀市
17	無農薬・減農薬栽培の拡大と自家農産物を活用した加工品の製造および販売	無農薬栽培の米および緑米、減農薬栽培のイチゴの生産拡大に取り組み、インターネットを活用し新たな販売ルート構築する。また、加工販売施設を整備し、自家製キムチやイチゴロールケーキの開発に取り組み、農業経営の改善を図る。	マイベリーファーム 勝井茂幸	—	—	滋賀県	甲賀市
18	生ごみ堆肥を使用し生産されたメロン、トマト、いちご、干瓢の商品加工及び販売事業	メロン、イチゴ、トマトを使ったジェラートやジャムの商品開発・生産、干瓢の加工販売に取り組む。また、直売所を設置することにより、生産農作物や新商品の新たな販売ルートの構築に取り組む。 生ごみ→堆肥→農作物→加工→地域消費の完全な地産地消ルートの構築に取り組む。	株式会社水口テクノス	—	—	滋賀県	甲賀市
19	当社の農園で生産した農産物（桃）を利用した商品の販売	自社の農園で生産している桃の直接販売を開始する。贈答品としても販売できるように糖度などの品質について厳格な規格を設定し、ブランド化を図り、インターネットを利用した直接販売に取り組む。	山元 正樹	—	—	滋賀県	甲賀市
20	伝統を活用した伝統農産物の復活及び、地産地消拡大事業	京阪神のベットタウンである当地域で更なる地産地消の拡大を展開していくため、無添加の漬物や乾燥野菜、カット野菜、ポン菓子、米粉・米粉パンなどの多様な商品の加工・販売に取り組む。 さらに、安藤広重の東海道五三次の宿場町の絵にもある町の伝統農産物である干瓢の復活に取り組む。	有限会社るシオール ファーム	有限会社共同 ファーム	—	滋賀県	甲賀市
21	規格外野菜を使ったパウダー野菜の全国展開	出荷の際に取り除く葉や茎などの非食部分・規格外野菜をパウダー化し、野菜ごとにパッキングして商品化を行う。粉末のため、栄養価も高いまま利用できる。乳児の食事やお年寄りの介護・病院食にも適している。	農業生産法人株式会社 マイファームラボ	—	株式会社マイ ファーム	滋賀県	野洲市



六次産業化法に基づく認定事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
22	うるち米・もち米を利用した米粉商品の開発、販売事業	米粉を使った商品開発を進めるとともに米粉麺を販売することで、新規需要米の需要を増やし農業経営の改善を図る。	有限会社エコ農業ニシサカ	—	—	滋賀県	高島市
23	京野菜 九条葱加工品の開発	九条ネギの売り上げ拡大と安定販売のため、九条ネギオイルやプチカットネギを新商品として開発・販売。	こと京都株式会社	—	—	京都府	京都市
24	リキュール、スイーツ等原料向け金時人参ペーストの開発	15種類の京野菜を生産しているが、栽培品目の1つである金時人参は生果での販売に向かないものも多い。そのため、金時人参の鮮やかな紅色と甘みを活かし、特色のあるリキュールやスイーツ等の原料として金時人参ペーストを商品化し、未利用であった金時人参の有効活用により収益の向上を図り、農業経営の改善につなげていく。	杉山 春代	—	—	京都府	京都市
25	京都大原野の特産品である、竹の子、竹を利用した商品の生産・加工・開発・販売事業	竹の子の青果のPRと販路拡大に取り組み、直接販売を展開していく。また、竹の子の収穫は短期間に限られていることから、保存できる加工品としてお惣菜などの新商品を開発し販売していくことで、収益向上を図る。また、竹林の整備の際に発生する竹廃材を活用し、竹粉肥料の開発に取り組み、付加価値向上を目指し、大原野の特産品である竹の子生産の次世代への継承を行う。	農園義の能勢 義弘	—	—	京都府	京都市
26	丹後地域の良質な米を利用した加工品の製造・販売事業	丹後米の魅力を発信するため、丹後コシヒカリの米粉パンの開発・販売を行う。 また、自社のブドウを始めとした地域で収穫される果樹、野菜を使用したジェラートの開発・販売を行う。	農業生産法人 有限会社たんごワイナリー	—	—	京都府	宮津市
27	京都丹波の無農薬米を生かした食の提供および商品の加工・販売事業	無農薬米をキーワードとした飲食店・直売所の経営。うるち米およびもち米を生かした商品メニューをより多角的に構築・コーディネートすると共に、販売戦略（売り込み）を綿密に練り上げることにより、農業経営の改善を図る。	京都丹波の里はらだ自然農園 原田 健一	—	—	京都府	亀岡市
28	地域の特産品である生姜を利用した商品の加工・販売事業	特産品である生姜の生産拡大・品質向上に取り組み、生姜を使った新商品（佃煮）を開発する。商品は、旅館や料理屋への販路開拓とともに、京都丹後の特産品として観光客への販売にも取り組んでいく。新たな販売ルートの構築に取り組み、生姜を加工し付加価値を付けて販売することで、収益の向上を目指す。	のうゆう会（農結会） 代表 越江 雅夫	—	株式会社オノウエ	京都府	京丹後市
29	地域の特産品である「丹波黒大豆」を使った量販店向けの黒豆甘露煮及び黒豆茶ペットボトルの商品企画・加工販売事業	「安全・安心な食品の製造」をさらに徹底し、地域の特産品「丹波黒大豆」を使った加工品として、新たに量販店向けの「黒豆茶」「甘露煮」を商品開発・生産する。量販店への販路開拓に取り組み、また、自社のネットショップ「京都黒豆屋」を活用して幅広く消費者にPRしていき、新たな販売ルートを構築することにより、黒大豆の需要の拡大を図り、農業経営の改善を図る。	農事組合法人グリーン日吉	—	—	京都府	南丹市

六次産業化法に基づく認定事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
30	トマト（熟す前の青トマトを含む）を利用した商品の加工・販売と新たな販売方法の導入	熟す前のトマト（青トマト）、トマトを使った2種類のコンフィチュール(ジャム)を委託開発・製造するとともに、直販やネット販売といった新たな販売方法を構築することにより、経営の多角化・高度化を図り、農業経営の改善を図る。	寺本 靖夫	—	—	大阪府	高槻市
31	都市的農業地域における有機農産物の惣菜直売及び開発による生産規模の拡大	新たに調理加工飲食設備のある直売所を整備し、有機農産物を使った創作惣菜の開発・生産・販売・飲食提供を行う。素材の新鮮さを損なわない調理法を研究し、生産直売の強みを活かしたサービスを提供していく。販売ルートの開拓及び販売方法の創意工夫と効率化に取り組むことで、都市農業地域におけるモデル的な農業経営を目指し、収益の拡大を図る。	有限会社杉農園	農園 杉・五兵衛 堅島 五兵衛	—	大阪府	枚方市
32	地域の拠点施設として、立地条件や特産品を生かした新規販売方法の導入と特産品を利用した商品の加工販売事業	かきもちや野菜パック、乾燥野菜、ジャムを新商品開発を行うとともに、オープンカフェのメニューとして米粉関連商品を開発する。また、インターネット取引にも取り組む。	農事組合法人見山の郷交流施設組合	—	—	大阪府	茨木市
33	ハウレンソウを利用した米粉パンときゅうりを利用した漬け物の加工・販売事業及び地元野菜の直売と宅配事業	野菜の出荷販売に加え、直売施設での販売や宅配を新たな販売方式として行う。併せて、米粉パンや漬物を新商品として開発・販売を行う。	北大阪6次産業化推進協議会 会長 東山 磯治	—	株式会社マイファーム	大阪府	箕面市
34	ノンホモ低温殺菌牛乳による農から発信する新たな食文化の交流	これまでの「ノンホモ低温殺菌乳」を活用して、練乳の製造・販売に取り組むとともに、この練乳を活用したアイスクリームの製造販売に取り組み、酪農の機能及び商品への理解による新しい食文化を提案することで消費者との交流を深め、顧客満足度の向上と経営の安定化に繋げる。	有限会社レテール・ユゲ	—	—	兵庫県	神戸市
35	イチゴと夢前メロン（地域ブランド化）のもぎ取り体験&スイーツカフェのある直売所	観光体験ハウスとスイーツ・ハーブティーなどを提供できる直売所を併設し、女性に好まれる場をつくるため、冬はイチゴ、夏は網干メロンのもぎ取り体験を提供し集客を高めるとともに、地元菓子業者と連携しイチゴ、メロン及び米粉を使ったスイーツを開発し、直売所でスイーツ、フレッシュジュースを提供する。	有限会社夢前夢工房	—	株式会社杵屋	兵庫県	姫路市
36	鮎原米を利用した加工・販売事業	地域で生産される米は「鮎原米」と呼ばれ消費者からの評価も高いため、ブランド白米・米粉の商品開発するとともに、新たな販売ルートの開拓により、鮎原米のブランド化、農業経営の多角化による地域農業の活性化を図る。	岩見ライスセンター 岩見 倍夫	—	—	兵庫県	洲本市

六次産業化法に基づく認定事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
37	地元産の黒豆を利用した商品の加工・販売事業	黒大豆の煮豆を商品開発・生産するとともに、その新たな販売ルート構築することによって、経営の多角化・高度化を図り、農業経営の改善を図る。	農事組合法人八幡宮農組合	—	—	兵庫県	加古川市
38	古代米で新しい米の食べ方を提案～食べて守ろう日本の農業～	冷凍システムを導入し、新たに玄米粉のロールケーキ・ピザ・お好み焼きなどの商品を開発し、調理の手間なく食べることが出来る商品を展開することで、既存商品の新たな需要開拓も目指す。	松田 光司	—	—	兵庫県	赤穂市
39	温室栽培で生産したイチゴを原材料とするイチゴ加工食品の製造、販売事業	温室栽培によって生産されたイチゴでジャム・ジェラート・アイス・ジュースなどの加工品を開発し販売するとともに、農園にて、もぎとりイチゴの直売を行う。これらの取組により、食べていける農業、元気になる農業、株式会社で守る農業を目指す。	農業生産法人株式会社実里	—	—	兵庫県	三木市
40	地域農産物を使ったお菓子の加工販売	現在生産している黒大豆や小豆、果物等を用いて新たに菓子類の商品を開発・販売することで経営の多角化を図る。	株式会社アグレッサンス	—	—	兵庫県	篠山市
41	地域休耕地活用「なた豆・ヤーコン」のお茶加工販売・販路開拓及び一次加工販売拡張事業	なた豆や、ヤーコンを生産し、一次加工品だけにとどまらず、茶までの加工・販売までを一体的に取り組むことで、農業利益を向上させるとともに、地域への普及による特産化を目標として、休耕地の活用推進を図る。	構井 正	岸本 一郎	株式会社丹波篠山大内農場	兵庫県	篠山市
42	地域の特産品であるみかん類、ぶどう、いちご等を活用した商品の加工・販売事業	当園は瀬戸内気候の特徴・年間を通じて温暖で日照時間が多いのを生かし、多種類のフルーツを生産し、生果販売やもぎ採り体験を行っている。今後、ミカン、巨峰、イチゴをはじめとしたフルーツを使った和洋菓子、飲料等の新商品開発をすすめ、新たにカフェの運営を行い、経営の安定を図る。	農業生産法人株式会社淡路島フルーツ農園	—	—	兵庫県	淡路市
43	特産品の淡路ブランド玉葱を用いたオニオンスパイスの生産・販売	淡路島の特産であるタマネギの生産を行っているが、付加価値を高めるため、自社生産玉葱を使ったオニオンスパイス（肉料理やサラダにも使えるもの）の商品開発・販売に取り組む。商品は、玉葱の取引先へ販売していくとともに、観光土産としての需要開拓にも取り組む。	株式会社淡路フィール	—	吉田商事株式会社	兵庫県	南あわじ市
44	淡路いのぶたの生産向上（安心・安全）と新製品の開発・販路開拓・販売事業展開	現状、精肉のみで販売している猪豚を、ハム・ソーセージ類及びレトルト食品（カレー・シチュー等）を開発し、新たな販売ルート構築することで売り上げ増加と収益拡大を目指す。	株式会社嶋本食品	—	—	兵庫県	南あわじ市
45	特産品である桑の実を利用した商品の開発・加工の販売事業	特産品の桑の実を使って新たにスイーツ等の商品を開発し、また、醸造会社との契約販売を行うことで、農業経営に付加価値を取り込み、経営の改善を図る。	株式会社ささ営農	—	—	兵庫県	たつの市

六次産業化法に基づく認定事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
46	ハウス野菜の惣菜等商品の加工販売及び米穀の契約販売事業	新たにハウス野菜栽培に取り組み、惣菜等の商品開発・販売をするとともに、これまで直売のみで販売していた米穀類を酒造会社や製菓業者に契約販売することで、農業経営の改善を図る。	有限会社環境微生物研究所	—	灘菊酒造株式会社 株式会社森田泰商店	兵庫県	神崎郡市川町
47	加工用原料を供給するための、皮むき加工事業	加工用原料として、タマネギとニンジンについて加工用の生産を増やし、さらに今まで安価で販売していた青果の規格外品も含めて、皮むき加工を行い、付加価値をつけ（株）オルトに安定的に出荷し、所得の安定を図る。	株式会社西日本ファーマーズユニオン	—	株式会社オルト	奈良県	五條市
48	地域の特産品である、梅・柿・かりん・ブルーベリー等を利用した商品の加工・販売事業	地域特産品の柿・梅・かりん・ブルーベリー等を原料に、ジャムやジュース等の加工品を開発し、ネットや展示会などで新しい販売ルート構築し、生果とともに有利販売に取り組み、経営の改善を図る。	堀内農園 堀内 俊秀	—	—	奈良県	五條市
49	地域の特産品である、黒大豆、小豆、ごぼう等を利用した商品の加工、販売事業	黒大豆、小豆、ごぼう等を用いた加工品の開発と販売、直売所の経営参画をすることで、新たな販売ルート構築することによって、経営の多角化・高度化を図り、農業経営に付加価値を取り込むことで、農業経営の改善を図る。	農業生産法人有限会社類農園	—	—	奈良県	宇陀市
50	トマト・ピーマンの導入による規模拡大および直売開始事業	新たにピーマン、トマトの周年栽培の作型を取り入れ、地方市場、農協以外にも新たな販売ルートとして直売に取り組み、経営の多角化・高度化を図っていくことにより、農業経営の改善を図る。	吉川 康人	—	—	奈良県	磯城郡田原本町
51	金山寺みそ新商品開発による販路拡大	金山寺みそを生産、消費者ニーズに合わせた容器・容量・価格の検討による新商品の開発を行い、農産物加工所を新設し、金山寺みその原料となるウリの栽培面積の拡大し、地元卸売業者や量販店、みやげもの店への拡販を行う。	わかやま農業協同組合	—	—	和歌山県	和歌山市
52	温州みかんを中心とした果樹全般の販売システムの改善と促進事業	温州みかんを中心とした果樹全般について、品質の高い商品を生産して、消費者（ネット販売）や小売業者（スーパー等）へ直接販売することによって付加価値を高め、経営を安定させる。	上友農園 上野山 幸雄	—	—	和歌山県	有田市
53	スターチスを使った仏花の加工・販売事業及びドライフラワー加工事業	生花で市場出荷のみで販売していたスターチスを独自に仏花へ加工（仏壇・墓・葬儀など）や、ドライフラワーを開発・生産し直接消費者に販売する。	農業生産法人有限会社農園紀の国	—	—	和歌山県	御坊市
54	幻の「安藤柑」の復活と安藤柑ジュースの開発・販売	現状、生果販売している安藤柑（グレープフルーツに似た味の柑橘）をジュースに加工・販売することで農業経営に付加価値を付け、農業経営の改善を図る。	農業法人株式会社きてら	—	—	和歌山県	田辺市

六次産業化法に基づく認定事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
55	シュウ酸値が五訂食品成分表より少なく生で食べられる安心・安全なサラダ用ほうれん草の生産販売と出荷調整の際に除かれる葉の契約販売事業	周年栽培可能な販売システムの導入により、現状の市場相対方式に加え、新たにサラダ用ほうれん草を栽培し、契約取引を開始し、また、出荷調整の際に除かれていた葉を加工用に契約出荷することで農業経営の改善を目指す。	株式会社清水ファーム	—	株式会社ジェイク・サポート&サプライ 社会福祉法人陽気会 株式会社咲耶	和歌山県	日高郡 印南町
56	地場産業である青梅・梅干しの新商品開発及び新しい販路開拓事業	地場特産品である南高梅を梅干し原料としてだけでなく、新たな漬付け込み方法により梅干しとして販売し、所得の向上を図る。	梅蔵やもり中松梅園 中松 崇	—	—	和歌山県	日高郡 みなべ町
57	地域特産の梅干を使った2次加工品と販売事業	特別栽培の南高梅を使い、化学調味料無添加の調味梅干を開発・販売し経営の多角化・高度化を図り、農業経営に付加価値を取り込むことで、農業経営の改善を図る。	片山農園 片山 清範	—	—	和歌山県	日高郡 みなべ町
58	消費者との体験型交流による生梅（青梅）の販売事業	農業体験の受け入れを行っており、加工品作り体験も併せて実施してきた。平成25年には園内直売所を設け、園内見学や梅セミナーを通じ一般消費者との交流を図りながら生梅の販売を行うことにより農業経営の改善を図る。	月向 雅彦	—	—	和歌山県	日高郡 みなべ町
59	地域特産品である「梅」や「紀州うすい」等の新たな販売事業	これまでは市場出荷のみであったが、インターネットによる販売方式を導入。 具体的には自農園のホームページを立ち上げ、その中で、南高梅や紀州うすい、オランダ豆、そら豆の機能性を全面に押し出し消費者へアピール、販売することで農業経営の改善を図る。	関農園 関 信彦	—	—	和歌山県	日高郡 みなべ町
60	紀州特産の「南高梅」や「紀州うすい」を使用した新たな販売事業	紀州特産の「南高梅」や「紀州うすい」を生産しており、これまでは市場出荷のみであったが、インターネットによる販売も行うことで農業経営の改善を図る。	田中農園 田中 康弘	—	—	和歌山県	日高郡 みなべ町
61	みなべ町の特産品である南高梅を利用した商品の加工・販売事業	農薬を使用しない栽培方法により南高梅を生産することにより、秀品率の低下、規格外品が多くなることが予想されることから、規格外品を使用した梅ふりかけ、梅びしおなどの新商品を開発する。	寺垣 信男	—	—	和歌山県	日高郡 みなべ町
62	紀州特産の「南高梅」「紀州うすい」を使った新たな販売事業	これまでは市場出荷が中心であったが、今後は自農園のホームページを立ち上げ、自農園の栽培における工夫などを紹介し、消費者へ安全・安心な面を知っていただきながら、インターネットを活用した販売により売り上げ増を目指す。	中西農園 中西 久夫	—	—	和歌山県	日高郡 みなべ町

六次産業化法に基づく認定事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
63	地域の特産品である梅と金柑を使った商品の加工・販売事業	南高梅のジュースやジャム、金柑のジャムの開発に取り組む。ほんまもん体験と称して「梅の剪定体験」や「梅のもぎ採り体験」を行い、もぎ採った梅でジュースなどを作ることによってお客様との交流を深め、生産者の「顔」が見える農業を展開し、需要を開拓していく。	松川農園 松川 哲朗	—	—	和歌山県	日高郡 みなべ町
64	紀州の特産品である「南高梅」、「紀州うすい」等の新たな販売事業	これまでは市場出荷と産地直送（生協・個人）であったが、今後は自農園のホームページを立ち上げ、自農園での生産方法や信念、作物の機能性、加工・料理レシピを盛り込み、より多くの方に自農園を知っていただき、インターネットによる販売も手掛けることで農業経営の改善を図る。	山本農園 山本 康雄	—	—	和歌山県	日高郡 みなべ町

六次産業化法に基づく認定事業計画一覧

中国四国地域

総合化事業計画

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
1	ブルーベリーを主体とした6次産業の更なる改善事業	自ら生産するブルーベリーを活用してドライブルーベリーの開発・製造を行うとともに、通販用のウェブサイトを整えることで全国各地の消費者に向けて販路開拓する。	株式会社かわばた	—	—	鳥取県	日野郡江府町
2	規格外の桜桃と無花果・廃棄する若葉を活用した加工品の開発、製造及び販路開拓事業	自ら生産するいちじく、さくらんぼを活用してジャム・ドライフルーツ・紅茶・スイーツ等の開発・製造を行うとともに、首都圏や近畿圏の百貨店や高級スーパーマーケットなどの販路開拓する。	体験農場ナオ朝倉 直美	—	—	鳥取県	東伯郡琴浦町
3	鳥取県大山町で、自ら漁獲したサザエの加工・販売事業	自ら漁獲したサザエを活用してサザエのオイル漬け・麴漬け等の開発・製造を行なうとともに、県内での販売はもとより、自らの出身地である京都の料理店等への販売及び国産こだわり食材専門インターネットサイトなどと販売契約を結ぶことにより新たな販売先を得て、漁業経営の改善を図る。	福島 祥人	—	—	鳥取県	西伯郡大山町
4	西条柿を使った加工品の開発・販売事業	組合員が生産する西条柿の傷果・日焼け果を活用してカット干し柿・梅入り巻き柿・アイスシャーベットの開発・製造を行うとともに、高級スーパーマーケット・デパート・産直市・土産物店等の販路開拓に取り組む。	いわみ中央農業協同組合	—	—	島根県	浜田市
5	県内産ピオーネ、白桃を使用した完熟果実のコンサーブ（シロップ漬け）の加工・販売事業	自ら生産するピオーネ、白桃を活用してコンサーブの開発・製造を行うとともに、既存の販路を活用した上で、新たに洋菓子店、料亭等の販路開拓に取り組む。	瀬戸農産物加工企業組合	—	—	岡山県	岡山市

六次産業化法に基づく認定事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
6	地域の農家と外食産業を結び付ける農産物Web販売事業	自ら生産する野菜・果実類等を活用してインターネット販売を行うとともに、直売所に来訪の機会がない飲食店経営者を対象とすることにより新たな販売先を得て、農業経営の改善を図る。	有限会社アグリ元気岡山	—	—	岡山県	総社市
7	菊芋の粉末化および規格外トマト・梅を使用したジャムの製造と販売	自ら生産するミニトマト、菊芋、うめを活用して菊芋パウダー、トマトジャム、梅ジャムの開発・製造を行うとともに、インターネット販売により直売所来訪者のリピート需要の拡大を図る。	AGRIブロードカンントリー株式会社	—	—	岡山県	岡山市
8	トマトを利用した商品の加工・販売事業及びフルーツトマトのブランド戦略	自ら生産するトマトを活用してトマトジュースの開発・製造を行うとともに、既存の販路を活用した上で、インターネット販売において注文販売を行うことにより新たな販売先を開拓する。	株式会社クニファーム	—	—	岡山県	新見市
9	天然イノシシの資源化及びイメージ向上のための加工品開発事業	自ら捕獲したイノシシの肉を活用してイノシシフランクフルト、イノシシロールの開発・製造を行うとともに、居酒屋や焼き肉店等の業者など新たな販売先を開拓し、経営の改善を図る。	哲西郷趣膳 水上 水上 豊	—	—	岡山県	新見市
10	真庭市特産のジャージー牛乳とフレッシュ果実入りジェラートの開発・販売事業	自ら生産する生乳、ピオーネを活用してジャージー100%の低温保持殺菌による瓶詰牛乳及びフレッシュ果実入りジェラートの開発・製造を行うとともに、既存の販路を活用した上、全日空ホテルへの卸、中国自動車道SA、各スーパー等との直取引を行うことにより新たな販売先を開拓する。	有限会社醍醐桜	—	—	岡山県	真庭市
11	カットネギ・乾燥ネギの加工・販売事業	自ら生産するねぎを活用してカットネギ、乾燥ネギの開発・製造を行うとともに、青果販売での販路に加え学校給食向けや県外食品加工業者向けに販路を開拓する。	有限会社岡山県農商	—	—	岡山県	岡山市



六次産業化法に基づく認定事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
12	自社の生乳を使用した加工品の商品開発	自ら生産する生乳を活用してチーズケーキ、クッキー、スープ等の開発・製造を行うとともに、今後も増加が見込まれる牧場への来訪者等の新たな販売先の開拓に取り組む。	有限会社 トムミルクファーム	—	—	広島県	東広島市
13	アーティチョークを利用した機能性食品の開発、製造、販路開拓	自ら生産するアーティチョークを希少食材や健康食品に関心を抱く消費者へPRを行い、知名度を向上させてから、茶、アイスクリーム等の開発・製造を行う。併せて、インターネット販売により新たな購買層を開拓する。	株式会社カンサイ	—	—	広島県	広島市
14	自社牧場で生産した生乳を一部利用したジェラートの加工販売事業	自ら生産する生乳を活用してジェラートの開発・製造を行うとともに、自らが役員を務める(株)砂谷牛乳の顧客2万件へのDM、メルマガ等による個別アプローチ、特典付きアンケート等で顧客の獲得を図る。	株式会社久保アグリファーム	—	—	広島県	広島市
15	米粉を活用した加工品の開発、製造及び直売施設の設置による販路の改善	自ら生産する米を活用して米粉パン、米粉フルーツパイ、米粉ピザの開発・製造を行う。米粉パンは手軽に食べられることから、これまであまり米を消費していなかった若い世代や、近隣に所在する三次ワイナリー等を訪れる観光客向けにPRすることにより新たな販売先を開拓する。	株式会社福田農場	—	—	広島県	三次市
16	希少品種トマト「ルネッサンス」を使用した加工品の開発・販売及び新販路開拓	自ら生産するトマトを活用してトマトピューレ、トマトケチャップ、トマトジャム、ドライトマト、トマトジュースの開発・製造を行う。自社直売施設における販売、三次市内のホテル、広島県内の高級レストラン向けに販売するとともにインターネット販売を行う。	小野農園 小野 隆	—	—	広島県	三次市
17	地域特産じねんじょう山芋を活用した加工商品化事業	自ら生産するやまいもを活用して山芋の漬け物、軽羹、山子弁当の開発・製造を行うとともに、24年度開業予定の道の駅、新設の直売所、インターネット販売により新たな販売先を開拓し、農業経営の改善を図る。	やまいもまつり有限会社	—	—	山口県	周南市

六次産業化法に基づく認定事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
18	地元産米を使用した米粉商品の加工・販売事業	自ら生産及び他の農業者の生産する米を活用して米粉の開発・製造を行うとともに、学校給食用及び農業法人協会が開発する米粉パン向けに販売することにより、農業経営の改善を図る。	有限会社名田島農産	—	—	山口県	山口市
19	地域の特産品であるユズ及び山林副産物を利用した商品の加工・販売事業	自ら生産するユズを活用して、ねりユズ、ユズジャム等のユズ加工品の開発・製造を行うとともに、実演販売と料理専門家とのタイアップによる口コミ層への販売強化を図る。	株式会社木頭いのす	—	榴畑香料株式会社 株式会社メディアドゥ 株式会社コスメティックジャパ	徳島県	那賀郡那賀町
20	鳴門特産である蓮根の未利用品を活用した商品の開発、製造及び販路開拓	自ら生産するれんこんを活用してレンコンパウダーの開発・製造を行うとともに、インターネットを使った受注販売方式を取り入れることにより、全国を対象とした販売を行うことにより、農業経営の改善を図る。	えんたのれんこん推進会議	—	—	徳島県	鳴門市
21	生海苔を使った高付加価値商品の加工と販売事業	自らが生産する海苔を活用して冷凍生海苔の業務用バルク(大口)品及び一般消費者向けの海苔加工品の開発・製造を行うとともに、主として関東圏の業務用需要への販売を行う。	株式会社海苔漁師	—	株式会社スペック	徳島県	板野郡北島町
22	地域の特産品である枇杷の蜂蜜等を利用した商品の加工、販売方法の改善	自ら生産する枇杷蜂蜜を活用して各種蜂蜜加工品などの開発・製造を行うとともに、カフェ、物販館の新設や直売所の交流施設への改装により観光客層を開拓することにより新たな販売先を得て、農業経営の改善を図る。	中田 茂富	—	—	香川県	高松市
23	自社生乳を用いた商品開発及び販売展開	自ら生産する生乳を活用してソフトクリーム・ジェラートの開発・製造を行うことにより、リピーター需要向けのインターネット販売を行うことにより、農業経営の改善を図る。	有限会社広野牧場	—	—	香川県	木田郡三木町

六次産業化法に基づく認定事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
24	地域の特産品であるオリーブを利用した商品の加工、販売事業	自ら生産するオリーブを活用して高品質オリーブオイル、オリーブ新漬等の開発・製造を行うとともに、通信販売等による全国展開を行い、需要の拡大を図る。	株式会社アライオリーブ	—	—	香川県	小豆郡 小豆島町
25	ボイセンベリーを利用した商品の加工・販売事業	自ら生産するボイセンベリーを活用してアイスクリーム・ヨーグルト等の開発・製造を行うとともに、様々な食品の原料として食品加工業者向け需要を開拓する。	大地と語り合う会	—	—	香川県	三豊市
26	樹上完熟桃を利用した加工品の開発、製造、販売及び販路開拓	自ら生産するもも、すももの樹上完熟果実を活用したジュースやジャムの開発・製造を行うとともに、リピーター需要向けのインターネット販売を行い、農業経営の改善を図る。	飯田農園 飯田 栄一	ひうらの里 飯田 将博	—	香川県	さぬき市
27	じゃばら、富有柿を活用した高付加価値調味料やスイーツ素材の開発、製造及び販路開拓	自ら生産するじゃばら、富有柿を活用してチャツネ、ソース、ピール、ドライフルーツの開発・製造を行うとともに、食品加工業者への販路開拓や、インターネット販売により全国の消費者を開拓する。	株式会社内子フレッシュパークからり	—	—	愛媛県	喜多郡 内子町
28	果樹・野菜・芋類を利用した新商品の製造・販売事業	自ら生産するトマト、柑橘類、キウイフルーツ、いちじく、さつまいも、さといもを活用してジュース、アイスクリーム・ジェラート、コロッセ等の開発・製造を行う。直売施設の整備に加え、県内外の飲食店や加工業者、量販店と契約することにより新たな販路を開拓する。	有限会社雅園	—	—	愛媛県	西条市
29	産地化を目指すブラッドオレンジの加工・販売事業	自ら生産するブラッドオレンジを活用してオレンジ、ピール、ハーブティーの開発・製造を行うとともに、観光ツアー土産やギフト商品への販路開拓に取り組む。	山本 展弘	—	—	愛媛県	宇和島市

六次産業化法に基づく認定事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
30	カツオをはじめとする地域水産物を活用した商品開発・加工・販売事業	漁協組合員が水揚げしたかつおを活用して丼セットの開発・製造を行うとともに、東京都との交流を通じた販路開拓により新たな販売先を得て、漁業経営の改善を図る。	愛南漁業協同組合	—	—	愛媛県	南宇和郡 愛南町
31	キウイフルーツとトマトのドライフルーツへの加工と販売	自ら生産するトマト、キウイフルーツを活用してドライフルーツの開発・製造を行うとともに、インターネット通販を効果的に活用し、全国各地の消費者を開拓することにより、農業経営の改善を図る。	菊地 義一	—	—	愛媛県	大洲市
32	1・2・3・6一次産業再生ビジョン 四万十のお茶農家はこんなに元気プロジェクト	自ら生産する茶を活用して四万十給茶システム、四万十緑茶シリーズ、スイーツ、茶殻脱臭剤の開発・製造を行うとともに、道の駅、インターネット等通信販売を行うことにより新たな販売先を得て、農業経営の改善を図る。	合同会社広井茶組合	—	(株)四万十ドラマ	高知県	高岡郡 四万十町
33	自社鶏卵・鶏肉を利用した加工商品・直売店での販売事業	自ら生産する鶏卵を活用してプリン、シュークリーム、ロールケーキ等スイーツの開発・製造を行うとともに、新設予定の直売店及びインターネットでの販売を行うことにより新たな販路開拓に取り組む。	株式会社 ブラウン	—	—	高知県	高岡郡 四万十町

六次産業化法に基づく認定事業計画一覧

九州地域

総合化事業計画

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
1	福岡県の特産品であるいちじくを利用した観光農園及び果実の加工・販売事業	既存の農場内に加工・販売所を新設し、いちじくの青果販売を行うとともに、自ら生産したいちじく果実を使用したジャム、コンポート、乾燥（粉末）果実の加工・販売を行う観光農園を経営する。 また、加工したいちじくを菓子製造小売業者に業務用一次加工品として納入するなど、新たな販路拡大をしていくことにより、経営を多角化し経営の安定改善を図る。	株式会社農業都市デザインシステム研究所	—	—	福岡県	久留米市
2	自ら生産した焼きのりと米を利用した「のり巻きおにぎり」の加工・販売事業	自分で生産した海苔と米を原料に使用した「のり巻きおにぎり」を生産・販売するとともに有明海の珍味を使用したおにぎり具材の開発と新たな販路を開拓することによって地産地消と所得の安定を目指す。なお、水稻の作付け面積についても、増やしていく。	山口 豊彦	—	—	福岡県	大川市
3	なたね食用油の加工販売及びその副産物等を利用した資源循環型農業	なたね油関連の商品開発・生産により商品アイテムの充実を図り、新たな販売ルートを構築することで有利販売による所得向上を目指す。 また、菜種の搾油時の副産物である菜種粕を肥料として有効活用し、有機質肥料を活用した農業生産を行うと同時に、地域のリサイクル業者と連携し、各家庭の廃食油をリサイクルしたバイオディーゼル燃料（BDF）の農業機械への活用を研究し資源循環型農業を目指す。 上記の取り組みを通じて、消費者へ国産なたね油関連商品および安心安全な農業生産活動をPRし高付加価値な商品販売につなげることで、農業経営の発展、高度化を目指す。	農事組合法人大春の里	—	—	福岡県	うきは市
4	地域特産の柿等の果実、野菜類を利用したジュース、冷凍、ドライ加工品の開発及び直接販売事業	果実と野菜の加工商品（ジュース、冷凍野菜、ドライフルーツ）の開発、生産を行うとともに、直売所での販売、インターネットを利用した通信販売など、生果も含めて新たな販売ルートを構築する事によって経営の多角化、農業経営の安定を図る。	株式会社朝倉農園	—	—	福岡県	朝倉市
5	自社生産青葱を利用した新商品の開発及び販路開拓事業	市場のニーズは手間のかからないカット野菜が大きな割合を占めるようになってきている。そこで、自社でカットを行い販売すれば収益性の高い作物となる。また、収穫したネギの廃棄量をゼロに近づける事も出来る。 カットネギの商品開発を行うとともに、新たな販売ルートを開拓することにより、付加価値を取り込み経営の多角化・高度化を図ることを目標とする。	株式会社春口農園	—	—	福岡県	八女市

六次産業化法に基づく認定事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
6	地元産にこだわった野菜・茶とその乾燥微粉末加工品の生産・販売事業	現在の取引先である高齢者介護施設の食へのニーズや天候不順等による収穫量の不安定さを解消する為には、食材の乾燥微粉末の商品化がもっとも適しており、これにより地元野菜にこだわった「安全・安心・安定」生産体制の構築を推進する。 野菜を乾燥微粉末加工して、付加価値を付けて販売するとともに、この新たな供給体系により青果を含めた新たな販売ルートを開拓することで、所得の向上と農業経営の安定化を図る。	株式会社秋の月	—	—	福岡県	朝倉市
7	いちじく（とよみつひめ等）を活用し、原料そのものを発酵させる飲用酢の開発と販路開拓	いちじくを原料とした飲用酢については、果実を米酢等に漬け込んで作る商品が既に発売されているが、管内で生産するいちじくを原料として、静置発酵法にこだわって「飲むいちじく酢」の開発・商品化を進める。 そして、消費者の新たな需要を開拓し、販売ルートを構築することによって、いちじく栽培の振興を図り、農業経営に付加価値を取り組むことで農業経営の改善並びに安定化を図る。	福岡大城農業協同組合	—	株式会社庄分酢	福岡県	三潁郡大木町
8	自社のオリジナルブランド「金星佐賀豚」を利用した加工品と精肉の直接販売事業	養豚の規模拡大と豚肉の加工、商品開発、製造と共にその新たな販売ルートを構築することによって経営の多角化、高度化を図り、農業経営に付加価値を取り込むことで農業経営の改善を図り雇用の創出と地域の活性化に取り組む。	有限会社永渕畜産	—	—	佐賀県	藤津郡太良町
9	地域の特産品である「煮干しいりこ」を利用した商品の加工・消費拡大・販売事業	生産量日本一で品質の高い煮干しいりこをパウダー等に加工し、JAと提携し無洗米にコーティングした「いりこ米」及びいりこダシ、いりこドレッシング等の商品を製造して、煮干し全体の付加価値を上げ、さらに加工用機械等の稼働率を向上させることにより、経営の安定化と漁業者の所得向上を目指していく。	九十九島漁業協同組合	—	—	長崎県	佐世保市
10	ネギ類のカット加工による販売事業	中食・外食等への販売ルートを新たに構築し、ネギ類の付加価値を高めた安定した販売を実現する。そのため、生産規模を拡大し5年後に8ha、年400トン以上のネギの生産を行う。生産地には、西海市内の遊休農地を活用する。また、栽培において使用する肥料や堆肥には、地域で排出される食品残渣や畜産排泄物などを自社で発酵し、堆肥・肥料化して使用する。ネギの栽培担当者として、新たに6~8名程度の雇用を行う。	株式会社大地のいのち	—	—	長崎県	西海市
11	オリジナルブランド「ASO MILK」と地域農産物を利用した商品開発及び販売事業	自社生産の生乳の加工分野、並びに商品力の充実を図った上で、阿蘇地域の農産物を利用したジェラートや乳製品及び菓子など新たな商品開発や直接販売（販路拡大）を行う。 さらに、新たに直売所の整備構想があり、現在の卸主体の販売方法から直売主体の販売方法へシフトする。その際にはインターネットを活用して、阿蘇地域の農産物や農産加工品のネット販売を行う。	有限会社阿部牧場	—	—	熊本県	阿蘇市

六次産業化法に基づく認定事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
12	さつまいも（紅はるか）の品種特性を活かした商品の加工・販売事業	さつまいも（紅はるか）の品種特性を活かして焼き芋ペーストや芋パイまんじゅうなどの商品開発・生産するとともに、その新たな販売ルート構築することによって、経営の多角化・高度化をはかり、農業経営にさらなる付加価値を取り組むことで農業経営の改善を図る。	農業生産法人有限会社 コウヤマ	—	—	熊本県	上益城郡 益城町
13	タイ、ヒラメの真空パック冷凍製品及び新しい冷凍技術を取り入れた都市部の消費者への直接販売	天然のタイ、ヒラメだけに頼るのではなく、アワビの養殖やタイ、ヒラメの3枚おろしの加工冷凍製品やウニの加工製品の開発に取り組み、独自の販路を拡大して収入の安定と増収を図る。	合同会社成光丸水産	—	—	熊本県	天草市
14	牛乳を利用した乳製品（ヨーグルト、フレッシュチーズ、アイスクリーム）の加工販売事業	加工施設を新設することにより、乳製品に地域の農産物を混合し付加価値を高めて販売することにより、経営の多角化、高度化を図り酪農経営の改善を図る。	大藪 正勝	—	—	熊本県	合志市
15	地域の特産品である自家製のたまごと熊本県産小麦粉を利用した商品の加工・販売事業	こだわり自家製の卵と熊本県産の小麦粉を使った新商品の開発・生産をするとともに、お土産として喜ばれるお菓子を製造することにより、経営の多角化・高度化・安定化を図り、農業経営に付加価値を取り込むことで、農業経営の安定化を図る。	株式会社サン・ファーム	—	—	熊本県	熊本市
16	桑と繭を利用し日本古来からの伝統産業技術を活用した健康と環境に根ざした自然循環型食品加工品生産事業	これまでの桑の葉や実の食品加工品からさらに付加価値を付けるため、桑を活用し養蚕を行い、「まゆ」の生産を実施、まゆの粉末や冬虫夏草（健康食品）を国、県、市と連携して開発・生産する。 併せて、新たな販売ルートの構築をニーズ調査に基づきすすめるとともに、経営の多角化・高度化並びに地域の活性化と課題となっている耕作放棄地解消を図る。	株式会社峯樹木園	—	—	熊本県	合志市
17	シンデレラ太秋柿を使った商品の加工と販売事業	太秋柿を原料としたパウンドケーキなどの製造販売。 青果として富裕層をターゲットにした進物用シンデレラ太秋から、新規に会員販売に取り組み一般家庭向けの商品など品揃えに努め、その販売力を高めることによって農業経営の改善を図る。	(有) 福馬果樹園	—	—	熊本県	上益城郡 益城町
18	熊本県の品種ひのしずくを利用した商品開発・一次加工及びミニトマトの出荷体制の強化事業	現在、栽培を行っている熊本県のイチゴの品種「ひのしずく」とトマトを用いて、商品開発・一次加工を行い、トマトと「ひのしずく」の付加価値向上と認知度を高め顧客の確保を図る。 また、出荷場の拡大と冷蔵庫の導入により、品質の向上と安定した出荷が可能となることで農業経営の改善を図る。	農業生産法人 株式会社みなみ阿蘇	—	—	熊本県	阿蘇郡 南阿蘇村

六次産業化法に基づく認定事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
19	農水産物「南園の匠」を活用した新商品の開発と新たな販売事業	組合員が生産した農水産物の直販（カタログ販売）を通じて、地域ブランド「南園の匠」を構築することにより消費者への「食」の信頼と農業への理解の促進を行ってきた。 農水産物の素材の組み合わせやシリーズ化などによる特徴ある商品開発を行い、その新たな商品（加工品）等の認知度を高め、新たな販路を開拓するためインターネット販売を活用し、組合員の経営改善を図る。	くまもと南園の匠協同組合	—	—	熊本県	熊本市
20	地域の特産品であるポンカンなど柑橘を利用した商品の加工・販売事業	農業経営の安定化のため、廃棄又は捨て売りされている柑橘類の加工技術を確立し、生産から加工・流通・販売まで一貫した農業経営を目標とする。 そのため、ポンカン、デコポン等の柑橘類のジュース、ジャム、菓子及び芳香剤を商品開発・生産すると同時に、生果も含めて新たな販売ルート（直売所）を構築することによって新たな事業を創出し、農業に付加価値を付けることで農業経営の改善を図る。	オレンジ・シティ	—	—	大分県	大分市
21	宮崎県の代表的な農業である養豚を肉豚で販売するほか、新たに自社で精肉・加工し、移動販売車により精肉・ハンバーガーを販売する事業	収益向上を図るため、自家精肉を用いたハンバーガーの新商品の開発やその計画、生産に取り組むとともに、新たな移動販売車両による行商（直売）及びインターネット販売による販路の拡大を行う。自家生産、加工、直売による真の地産地消の実現を目指す。	農業生産法人 有限会社協同ファーム	—	—	宮崎県	児湯郡 川南町
22	弊社特許卵、炭火焼き鳥を行商リヤカーにより対面販売を行う。	自社製品の特許卵、炭火焼き鳥等を行商営業（行商リヤカー）により直接消費者へ届けることにより、販路の拡大と自社ブランドのPR効果による収益の増加を図る。 人口密集地（東京より）に拠点をつくり、新事業による雇用創出5名を新規採用する計画。	農事組合法人香川ランチ	—	—	宮崎県	児湯郡 川南町
23	新ショウガの芽と種なし日向夏を利用した商品の加工・販売	新ショウガは100gにパックして調整出荷する際に10g～20gの出荷できない芽の部分が出る。そのまま販売しても安値しかつかないうえ、日持ちしない問題がある。その芽を甘酢漬けに加工することにより問題の解消につなげ、付加価値を付けて販売できる。農業経営の多角化と安定化を図る。	福田 安剛	—	—	宮崎県	宮崎市



六次産業化法に基づく認定事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
24	地域特産物である野菜類等の高付加価値型加工品の製造及び展示直売所、地域レストラン新設事業	加工施設機能の拡大、展示直売機能及びレストラン機能を新設することで、経営の多角化を図るとともに、雇用創出が実現し被雇用者に多様な就労の場を提供する。 また、自社産青果を活用した新商品を開発し地場産品として積極的に販路拡大に努めることで、宮崎の農業を全国に広く周知できるほか、施設の一部を福祉作業所等に提供し障害者就労の機会を増やすことに貢献できるなど、農業法人としてCSR（社会的責任）を果たすことができる。 さらに、上述した目標を実現することで、これまで農作業及び青果出荷面で実現してきたアンポンタン構想（IT等を活用し、消費者には安全で本物を提供しつつ、農作業現場では、GAP等の品質を保持しつつ、農作業労働の軽減〈簡単単純化する〉を図る）を、二次加工及び地域レストランにまで拡大することを目指す。	農業生産法人 有限会社新福青果	—	—	宮崎県	都城市
25	バナナ生産と販売事業および新たな家庭菜園用苗販売	新たな生産品目として、平成23年からバナナの生産を行うとともに、平成23年には販売（直売も含む）を開始する。 また、家庭菜園向け野菜等苗の市場出荷等の新たな販売ルートを構築するとともに経営安定化を図る。	有限会社ジェイエイ ファームみやざき中央	—	—	宮崎県	宮崎市
26	宮崎県産地鶏である「みやざき地頭鶏」を利用した新グルメ商品（みやざき地頭鶏ふわ丼、みやざき地頭鶏ステーキなど）の製造・販売事業	自社が自ら飼育している鶏、「みやざき地頭鶏」を商品化し売り上げ増大を図る。新商品として「みやざき地頭鶏 炭火焼（常温タイプ）」、「みやざき地頭鶏 ふわふわ丼」、「みやざき地頭鶏 ステーキ」、「みやざき地頭鶏 カレー」、「みやざき地頭鶏 からあげ」を開発・商品化する。それら、新しい商品群に最適化した広告・宣伝および販売チャンネルを設計・構築することにより、経営の多角化・安定化を通して会社経営の改善を図る。	合資会社石坂村地鶏牧場	—	株式会社百河千山	宮崎県	宮崎市
27	農作物の付加価値向上のための産直市場の開設と加工品の開発事業	栗、いちじく等70アール果樹作農業を行い、平成26年度から収穫予定であり、それらの青果販売・加工品の商品化を図る。 また、野菜（ニンジン、キャベツ等）栽培も開始したばかりで、6月には収穫予定、その野菜を当社が新設する農家市場にて販売する。 地域の農業者と共に、販売ノウハウの習得と市場調査を行い、それを農畜産物の生産と加工商品の開発に活かすことで付加価値の向上を図る流れをつくりあげる。	農業生産法人 ファーマーズ マンマ株式会社	—	—	宮崎県	都城市
28	清流で育ったニジマスの加工・販売事業	清流で育ったニジマスのふりかけ、お茶漬け、燻製などを商品開発・生産するとともに、ニジマス君（仮称）のキャラクターを開発し、自家保有林の木などを利用してキーホルダ等を製造する。 また、インターネット等を活用してその新たな販売ルートを構築することによって、経営の多角化・高度化を図り、淡水魚養殖業経営に付加価値をとりこむことで、経営の改善を図る。	清流ニジマスの里 奥花瀬 代表 福山 敏史	—	—	鹿児島県	肝属郡 錦江町

六次産業化法に基づく認定事業計画一覧

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
29	地域の特産品である安納いもを利用した商品の加工・販売事業	種子島の特産品である安納芋の一次加工による商品化と、それをベースに2次加工による観光土産品や贈答用の商品化を目指し、さらには流通・販売までを担うことで、地域に存在する多様な諸産業間の連関効果を高めていく取り組みを進めていく。また、地域の自然豊かな農産物の特性を活かした第一次産業、一次産品の付加価値を高める第二次産業、都市や市場とのネットワークを提供する第三次産業が有機的に結合しながら多角的に発展していくという「農業の第六次産業化」を目指していく。	種子島共同ファーム株式会社	—	—	鹿児島県	西之表市
30	南大隅の温暖な気候を生かすマンゴーとブドウ等を利用した加工事業とインターネット販売事業	農業（ブドウ+マンゴー+ブルーベリー観光農園と秋カボチャ）と三次産業（飲食店）合わせ経営を行っているが、加工業を加えることで経営の幅ができて、更なる集客が見込める。 販売については、観光農園、直売所・スーパー出荷及び農協出荷しているが、総合的に単価を上げて行くにはブランドの確立が必要である。そこで、広報活動も加えリピーターの取り囲みもできるインターネット販売にも取り組んでいき、更なる所得の向上、経営の安定を図っていく。	濱田 隆介	—	—	鹿児島県	肝属郡 錦江町
31	霧島産にんにく栽培による遊休農地の有効活用と霧島黒にんにくの製造販売及び黒にんにくを原料とした新たな加工食品、健康食品の開発製造販売	地域の遊休農地を活用し、にんにくの生産を10ha程度を増やし、黒にんにくの製造原料のすべてを自社で生産したいと考えている。 また、黒にんにくの付加価値を更に高めるため、黒にんにくを加工した健康食品（カプセル状あるいは粒状等）や、ふりかけ等の調味料を開発する。これまで代理店等を通じた販売方法に加え、自社のインターネット販売システムを活用し販売網を強化を行う。新たに直売店も設置し直販体制を整えることによって地域の活性化に貢献するとともに、農業経営の改善を図る。	株式会社ナガミネ	—	—	鹿児島県	霧島市
32	生姜新商品開発及び販売事業	自社が栽培しているショウガを原料に、ショウガ調味液等の商品開発及び新たな販売先やルートを構築して、経営の多角化・高度化を図り農業経営の安定化と産地作りに貢献する。	アネット有限会社	—	—	鹿児島県	鹿屋市

六次産業化法に基づく認定事業計画一覧

沖縄地域

総合化事業計画

NO	事業名	事業の概要	事業者			都道府県	市町村
			申請者	共同申請者	促進事業者		
1	マンゴー、ブーゲンビリア等を利用した商品の加工・販売及び観光農園事業	自社の観光農園に来園する観光客向けに、マンゴー等の高付加価値化のための加工場を整備し、マンゴージュースやジャム、ブーゲンビリアやハイビスカスのプリザーブドフラワーの新商品を開発し、販売する。 また、これまでのデパート等への直接販売に加え、新たな販売ルートを構築することにより、経営の多角化、高度化を図る。	農業生産法人 有限会社 大嶺ファーム	—	—	沖縄県	宮古島市
2	高付加価値化を目指す久米島産農産物を活用した新商品群の開発及び販路拡大	自社生産農産物を原料としたにんにくパウダー、ジンジャーシロップ、ジンジャーパウダー、島らっきょうの酢漬け等の新商品を開発するための加工場を整備し、製造販売する。 また、有機JAS認証を取得し、安全・安心で高付加価値な商品生産により経営の改善を図る。	農業生産法人 有限会社南の風	—	—	沖縄県	島尻郡 久米島町
3	沖縄県産の小麦・米粉・大豆等を使った加工品の販売や農業体験などを実施する総合的な教育ファーム事業。	自社産の大豆や、県内の農家と連携して沖縄産の小麦、米粉を取り入れて、チーズケーキ等のスイーツや、味噌、豆腐、天然酵母パン等の新商品を開発する。また、パンの具材には、沖縄産のパイナップルなどのドライフルーツや、沖縄産のハーブなどを使用する。 ネットショップ事業や、全国の直売所のネットワークを通じて販売力の強化を図る。 廃校を利用し、加工施設、直売施設、体験農場、宿泊施設を整備する。	農業生産法人 株式会社あいあいファーム	—	—	沖縄県	国頭郡 今帰仁村
4	やんばるスパイス及び農産物を活用した商品開発とフードサービス事業	自社生産の秋ウコンやスパイス類、島にんにくを使用した調理加工済みカレーや、シークワサーやタンカンを原料としたスイーツの新商品を開発するための加工場を整備し、製造販売する。 また、これらの加工品や近隣の生産者が生産した農産物を販売する直売所や、飲食スペースを整備する。	農業生産法人 株式会社クックソニア	はるさー 沖縄畑人くらぶ	株式会社野菜ビジネス	沖縄県	名護市
5	エコフィードを活用した県産島豚ブランド化事業	良質な肉質で評判の島豚に、食物残渣を乳酸発酵させたリキッド飼料(エコフィード)を給与するとともに、抗生物質を使用せずに飼育し、より良質な肉質で安全・安心なブランド豚を確立する。 また、独自の販売ルートを構築することにより、経営の多角化、高度化を図る。	農業生産法人 株式会社みどりファーム	—	—	沖縄県	国頭郡 恩納村
6	循環型農畜産業と自社加工・販売施設経営	鮮度保持技術を活用して、自社生産のパンナップルなどの農産物を原料とした調味料、菓子、冷菓等や、自社飼養の肉用牛などを原料としたハム、ソーセージ、カレー等の製造、販売を行う。 原料を石垣島産にこだわり、より高付加価値な商品を開発し、直売所を設けて、石垣島を訪れる観光客やアジア富裕層、全国向けに販売し、収益の向上を図る。 これらのための製造施設、直売施設を整備する。	農業生産法人 有限会社やえやまファーム	—	—	沖縄県	石垣市

六次産業化法に基づく認定事業計画一覧

九州地域

研究開発・成果利用事業計画

NO	事業名	事業の概要	事業者		都道府県	市町村
			申請者	共同申請者		
1	温暖化に対応した新品種の開発	温暖化による農業への影響は、農作物の気象感応性が大きいこと、さらに大きくなっている。野菜においても、高温障害による品質低下、病害虫の発生、収穫時期の変動は国民への安定供給を危うくしている。ネギについては、今までにない病害虫の発生生理障害に伴う、収量や品質の低下が顕著である。このことを踏まえ、常に10a当たり収量2000kg以上を目標とした品種の育成を目標とする。	中原採種場株式会社	—	福岡県	福岡市